

第3学年 英語科 学習指導案

日 時 2025 年 10 月 16 日 (木)
第4校時 11:45~12:35
対 象 第3学年 D 組 33 名
会 場 3 年 D 教 室

1 単元名

Unit6 The Chorus Contest Part1 ……「Here We Go!」(光村図書)

2 単元の目標

- ・ストーリーを読んだり、聞いたりしておおまか内容をとらえることができる。
- ・人やものについて、後置修飾の表現を用いて詳しい情報を伝え合うことができる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①〈知識〉動詞の-ing 形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文の意味・形・使い方を理解している。	①旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	①旅立つ友達に贈るプレゼントの参考にするために、登場人物のおすすめの作品についての会話を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。
②〈技能〉動詞の-ing 形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文などについての理解をもとに、登場人物のおすすめの作品を聞き 取ったり、自分のおすすめの作品について話したりする技能を身に付けている。	②目的や場面に応じて、動詞の-ing 形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文を正しく使い、表現している。	②目的や場面に応じて、動詞の-ing 形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文を正しく使い、表現しようとしている。

4 単元指導計画(全9時間扱い)

時	目標	学習内容 ・ 学習活動	評価
1	ストーリーのおおまかな内容をつかむことができる。	映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確認する。	ウー①【観察】
2 本 時	人やものについて動詞の-ing 形の後置修飾を使い「～している・・・」と説明を加えることができる。	個人、ペア、グループで人やものなどについて動詞の-ing 形による後置修飾を使い、詳しく説明を加えながら紹介する。	イー②【観察、ワークブック】
3	本文の内容を捉え、文脈の中で動詞の-ing 形による後置修飾の意味・形・使い方を理解すること	・ Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 ・ 語句や表現、動詞の-ing 形による後置修飾の意味・形・使い方を確認する。	アー①②【観察、ワークブック】

	ができる。	・ 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
4	人やものについて過去分詞の後置修飾を使い「～される・・・」と説明を加えることができる。	個人、ペア、グループで人やものなどについて過去分詞による後置修飾を使い、詳しく説明を加えながら紹介する。	ウー②【観察、ワークブック】
5	本文の内容を捉え、文脈の中で過去分詞による後置修飾の意味・形・使い方を理解する。	・ Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 ・ 語句や表現、過去分詞形による後置修飾の意味・形・使い方を確かめる。 ・ 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	アー①②【観察、ワークブック】
6	間接疑問文を使って表現できる。	ペア、グループで間接疑問文を使い、やりとりを行う。	イー①【観察、ワークブック】
7	本文の内容を捉え、文脈の中で間接疑問文の意味・形・使い方を理解することができる。	・ Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 ・ 語句や表現、間接疑問文による後置修飾の意味・形・使い方を確かめる。 ・ 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	ウー②【観察、ワークブック】
8	おすすめの作品についての話を聞き、おおまかな内容を捉えることができる。	・ 登場人物の会話から、それぞれが Tina に紹介している作品や、おすすめのポイント、Tina が質問したことを聞き取る。 ・ Q&A などを通して、話の詳細や新出語句などを確かめる。	ウー②【パフォーマンス】
9	おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合うことができる。	・ ペアになり、おすすめの作品やその理由など伝え合う。 ・ 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	ウー①【観察、振り返りシート】

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び）



・ 教師の説明等は最低限にし、生徒が発話や活動をする時間をしっかり確保する。



・ 生徒自身にトピックを決めさせ、教師役になり、数分間クラスメイトと会話をさせる。

6 本時の指導（全9時間中の2時間目）

（1）本時の目標

- ・人やものについて動詞の—ing 形を使い「～している・・・」と説明を加えることができる。

（2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	○帯活動	
	◎トピック等を自分で決め、教師役としてクラスメイトと会話をする。 	□活動がスムーズにいくように必要に応じて、教師が補う。
展開 40分	<p>○新出表現の導入について理解する。</p> <p>○新出表現を使った言語活動を行う。</p> <p>○人やものについて動詞の—ing 形を使い「～している・・・」と説明を加えるための発表内容をペアやグループで確認する。 </p> <p>○オリジナルの文を作成・発表する。</p> <p><時間に余裕がある場合></p> <p>○進出単語の導入・練習</p> <p>○リスニングクイズ</p>	<p>□動詞の—ing 形の復習をしながら後置修飾がスムーズに習得できるように視覚教材等を使用しパターンプラクティスを行う。</p> <p>□ペアやグループで行わせたあと、代表の生徒に発表させ、全体で共有する。</p> <p>◆イー【観察、ワークブック】</p>
まとめ 5分	<p>○本時の目標に対する振り返りを行う。</p> <p>○本時の学習内容について、ペアで確認しあう。</p>	□ペアで行わせたあと代表の生徒に発表させ、全体で共有する。